
メランコリック ルバイヤート

佐伯彩瑠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

メランコリック ルバイヤート

【Nコード】

N3442S

【作者名】

佐伯彩瑠

【あらすじ】

メランコリックな気分をテーマにした、自作の四行詩集。（ルバイヤート・・・イスラーム文化、ウマル・ハイヤームの著した四行詩集）

一・

浴びるように飲める酒も この部屋には無かった
だから浴びるように飲んだのは 自分への侮辱の言葉
それを飲み込んで 俺は腹でも下したろうか
いや どれほど飲んでも酔えないのだ

二・

暖かい日の空は 晴れているとは限らない
明るく接しているときは 幸せや楽しいとは限らない
不安に散った紅梅 気分は急な勾配
季節の匂いは無意識 己の願いは有ゆう色しき

三・

いつものように まあいいか、を繰り返して
いつでも変わらない仮面で 交差点を横切る
俺の哀しみを上手く隠しながらも
人混みに要らないもの棄て 生きていく

四・

吐き気ばかりで ちっとも良くならねえ

酔っ払いの妖精は 酔っ払いを介護して
ミイラ取りがミイラになった？
結局どうもこいつも 眠ってやがるのさ

五．

偉そうに大人は 我が正しいと言い張る
正しいのはお前ではない お前らの子供である
純粋が故に 全ての物事を客観的に捉えることが出来る
正しいのは お前らの子供なのである

六．

どれだけ見ぬ郷を思い描いても
心の理想郷を埋める手助けにはならない
どれだけ聴かぬ唄を思い描いても
心の理想論を埋める手助けにはならない

七．

何度も書いて 何度も書き直して
送信ボタンも押せずに その度溜め息繰り返して
結局は 「内容は失われますが よろしいですか？」
僕は今までで最高の勇気で はい を押した

八．

吐き出せる溜め池は無く わたくしは自分の身体に
口々に吐きかける戯言は 強酸性の危ないもの
わたくしはやがては 存在まで溶けるまでに
その屈辱的懺悔に 蝕まれていくのです

九・

一歩歩き出す度に 足元のブロックが落ちていく
ブロックが落ちる度に 僕は孤独になっていく
孤独になっていく度に 逃げ場が無くなっていく
逃げ場が無くなった時に 世界は終焉のベルを鳴らす

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3442s/>

メランコリック ルバイヤート

2011年4月12日08時43分発行